

## 令和7年度 地域連携推進会議開催議事録

開催日時：令和8年3月28日（土） AM10:00～PM13:00

開催場所：地域連携推進会議 一般社団法人一路会 会議室

グループホーム見学 ありあ佐土原・大島・京塚

参加者：利用者代表：2名

利用者家族代表：1名 障害福祉・経営有識者：1名

司法関係有識者：1名 事業所職員：5名

### 1. 地域連携推進会議（50分講義）

- ・自己紹介
- ・グループホームありあ 遠隔
- ・利用者様の日常生活及び支援者の仕事について
- ・BCP（事業継続計画）の策定状況について
- ・利用者様の権利擁護について
- ・意見交換会

### 2. グループホーム見学

ありあ佐土原→ありあ大島→ありあ京塚の内覧及び利用者様との交流

### 3. 意見及び感想

- ・この推進会議を経て地域・他事業所とのかけはしとなることを期待。
- ・権利擁護としては普段の生活上で「1人の人としての尊厳」「敬意をもって接する」ことは当然のこと。この会議でこの話題が出ることに意義がある。
- ・地域との連携ではいきなり自治会長や地域を巻き込むことが難しい。  
地域包括支援センターとの連携（民生委員等のつながり）地域のイベント等の参加等、出来るところからの交流を始めるのはいかがでしょうか。
- ・ゴミ出し、生活音で近隣トラブルになる事がある。「地域からみられている」というところでは、日々社会生活のルールを利用者様が理解し実践することが大事。地域住民との交流、GHに対する理解・周知も必要。
- ・GH利用者の高齢化で日中活動に参加出来なくなる方が今後増えてくる。  
これまで考えることもなかった課題が表面化してくる。  
介護保険と障害福祉サービスのはざまとなる年齢の方々の支援については既存のサービスや枠組みでは解決できないことがあると改めて気付かされた。
- ・利用者様の声：自分達は安心して生活したり生きることを「諦めてきた人生」だった。ありあに来て、みなさんから日々声掛けや一緒に買物、楽しみのための外出をして「普通の生活」が送ることが出来た。ここにきて本当に良かった。